



ルータの設置

この章では、を、機器シェルフ、台上、機器ラックに取り付ける手順について説明します。

- [インストール方法](#) (1 ページ)
- [スタンドアロン機器シェルフまたは台上への設置のガイドライン](#) (2 ページ)
- [スタンドアロン機器または台上へのルータの設置](#) (3 ページ)
- [ラックへの設置のガイドライン](#) (4 ページ)
- [前面ラックマウントブラケットの取り付け](#) (5 ページ)
- [背面ラックマウントブラケットの取り付け](#) (6 ページ)
- [ラックへのルータの取り付け](#) (7 ページ)
- [ケーブル管理ブラケットの取り付け](#) (10 ページ)
- [シャーシアース接続部](#) (11 ページ)
- [ケーブルの接続](#) (13 ページ)

インストール方法

はスタンドアロンで、レール2本の19インチラックマウント（前面レールのみ）、およびレール4本の19インチラックマウント（前面および背面レール）で取り付けられるように設計されています。

取り付け方法としてはラックマウントが推奨の方法ですが、シャーシを機器シェルフまたは台上に設置することもできます。

**警告** 安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

SAVE THESE INSTRUCTIONS

**警告** 使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。

(注) シャーシを開梱し、新しい機器の現場での要件をすべて確認した後に取り付けを行ってください。

スタンドアロン機器シェルフまたは台上への設置のガイドライン

シャーシは、設置する場所に前もって準備しておく必要があります。シャーシの設置場所がまだ決まっていない場合は、[第3章の「設置場所の準備」](#)で設置場所に関する考慮事項を参照してください。

を頑丈な機器シェルフまたは台上に設置する場合、表面が汚れていないことを確認し、次の点を遵守してください。

- では、吸気口および排気口（シャーシの前後と上）を塞がないようにするために、それぞれ 7.62 cm（3 インチ）以上のスペースが必要です。
- シャーシは床から離して設置する必要があります。床に溜まった埃が冷却ファンによってルータ内部に吸い込まれます。ルータが埃を過度に吸い込むと、過熱状態およびコンポーネント故障の原因になります。
- シャーシの前後に、FRUの設置や交換、またはネットワークケーブルや機器へのアクセスのための約 19 インチ（48.3 cm）の空間を確保する必要があります。
- シャーシには適切な換気が必要です。換気が十分に行われないキャビネットに設置しないでください。

- ケーブル管理ブラケットをシャーシの前面に取り付ける場合は、ブラケットを用意しておきます。
- ルータのシャーシを適切にアース接続するようにしてください（「[シャーシのアース接続](#)」のセクションを参照してください）。

スタンドアロン機器または台上へのルータの設置

手順

ステップ1 台上またはプラットフォーム、およびその周囲の埃やゴミを取り除きます。

ステップ2 シャーシを機器シェルフまたは台上に置きます。

(注) をラックシェルフに取り付ける場合、ステップ3～9はオプションです。ケーブル管理ブラケットを取り付ける前に、シャーシのラックマウントブラケットを取り付ける必要があります。「[前面ラックマウントブラケットの取り付け](#)」のセクションを参照してください。

ステップ3 前面ラックマウントブラケットを取り付けます。シャーシの前面のネジ穴（通気穴の横の最初の穴）の位置を確認し、シャーシに付属している黒いネジのパッケージを使用します。

ステップ4 前面ラックマウントブラケットをシャーシの一方の側面に合わせます。

ステップ5 ネジを差し込み、締めます。

ステップ6 シャーシの反対側面についても、ステップ3～5を繰り返します。すべてのネジを使用してラックマウントブラケットをシャーシに固定します。

ステップ7 シャーシに付属している2つのケーブル管理ブラケットとネジを用意します。「[ケーブル管理ブラケットの取り付け](#)」のセクションを参照してください。

ステップ8 シャーシに取り付けられた左右のラックマウントブラケットに、ケーブル管理ブラケットをネジ留めします。ケーブル管理ブラケットをそれぞれ2個のネジで留めます。4本のネジのパッケージから1本を使用します。

(注) ケーブル管理ブラケットのU字フックの開放側が外向きになるようにして、ケーブル管理ブラケットをシャーシに取り付けてください。

ステップ9 ネジがすべてしっかり締まっていることを確認します。

次のタスク

「[シャーシのアース接続](#)」のセクションに進み、取り付けを続行する際の指示に従ってください。

ラックへの設置のガイドライン

は、次の種類のラックに取り付けることができます。

- 19 インチまたは 23 インチの 2 支柱ラック。内側の寸法（2 本の支柱またはレールの内側の間隔）は 19 インチ（48.26 cm）以上必要です。シャーシ内の通気は前面から背面に向かって流れます。
- 19 インチの 4 支柱ラック。内側の寸法（2 本の支柱またはレールの内側の間隔）は 19 インチ（48.26 cm）以上必要です。シャーシ内の通気は前面から背面に向かって流れます。

は、前面または背面のラックマウントブラケットの両方で取り付けることができます。

ラック取り付けを計画するとき、次のガイドラインに留意する必要があります。

- ラックにシャーシを設置する前に、設置を予定しているラック位置を測定してください。
- ラックを使用する前に、ラック設置の妨げとなる障害物（電源コードなど）がないか確認してください。電源コードがラック設置の障害になっている場合、シャーシを取り付ける前に電源コードを一旦外し、シャーシを取り付けた後に再度接続します。
- ラックの周りにメンテナンスに必要な空間を確保します。ラックが移動できる場合、通常の動作時は壁やキャビネットの近くに設置しておき、メンテナンス（カードの取り付け/取り外し、ケーブルの接続、コンポーネントの交換/アップグレードなど）の際に手前に引き出すことができます。移動できない場合、FRU の取り外しができるように 19 インチ（48.3 cm）の空間を確保しておいてください。
- シャーシの前後に、冷気の吸気口と排気口のための空間をそれぞれ 3 インチ以上確保します。シャーシを装置が過密なラックに配置したり、別の機器ラックに近接した場所に配置したりしないでください。他の機器から排出された高温の空気が吸気口に入り、ルータ内部が高温になるおそれがあります。



注 意 シャーシが非常に高温になる危険があるため、は、通気や空調が不十分な部屋に設置しないでください。

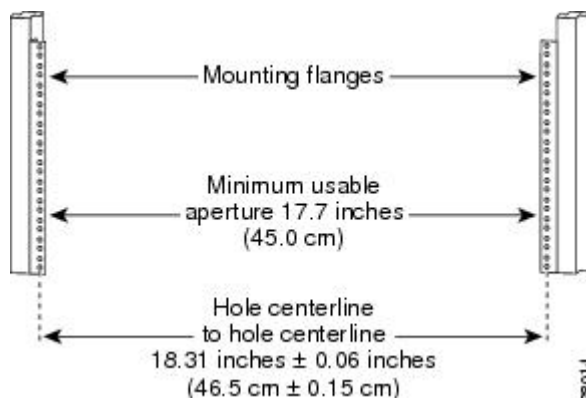
- ラックが転倒しないように重心を低く保つため、重い機器は必ずラックの下部に設置します。
- に付属したケーブル管理ブラケットを使用してケーブルをまとめ、カードやプロセッサに接触しないようにします。ラックにすでに設置されている他の機器のケーブルがカードへのアクセスの妨げになったり、機器のメンテナンスやアップグレードのために無関係なケーブルを外す必要がないようにしてください。
- ルータのシャーシを適切にアース接続します。

過熱状態にならないようにするには、上記のガイドラインに加え、「[物理特性](#)」のセクションおよび「[設置環境の条件](#)」のセクションの注意事項を参照してください。

ラック寸法の確認

シャーシの取り付けを開始する前に、機器ラックの垂直設置フランジ（レール）間の距離を測定し、ラックが下図に示す測定値の要件を満たしていることを確認します。

図 1: 装置ラックの寸法の確認



手順

ステップ 1 左と右の設置レールの穴の中心間距離を測定します。

この距離は 18.31 インチ \pm 0.06 インチ (46.5 cm \pm 0.15 cm) であることが必要です。

(注) ラックの支柱が平行であることを確認するため、機器ラックの下部、中央部、上部で左右の穴の中心間距離を測定してください。

ステップ 2 機器ラックの左前面および右前面の設置フランジ内側どうしの距離を測定します。

幅が 17.25 インチ (43.8 cm) のシャーシを収容してラックの設置支柱の間に収めるには、少なくとも 17.7 インチ (45 cm) の距離が必要です。

前面ラックマウント ブラケットの取り付け

始める前に

ラックにシャーシを取り付ける前に、シャーシの両側面にラックマウントブラケットを取り付ける必要があります。

ラックのどの位置にシャーシを取り付けるかを決めます。ラックに複数のシャーシを設置する場合、ラックの下部または中央から順に設置してください。次の図は、シャーシに取り付けられたブラケットを示します。使用するブラケットの穴によっては、シャーシがラックからはみ出すことがあります。



(注) シャーシへのケーブル管理ブラケットの取り付けは、シャーシのラックマウントブラケットをシャーシに取り付けてシャーシをラックに設置した後に行ってください。

手順

ステップ1 シャーシの側面にあるネジ穴の位置を確認します。前面ラックマウントブラケットは、ラック取り付け部とその穴がシャーシ前面側を向くように取り付けます。

次の図は、に前面ラックマウントブラケットを取り付ける位置を示します。

1	前面ラックマウントブラケットのラック取り付け部とその穴	3	前面ラックマウントブラケット ネジ
2	前面ラックマウントブラケット		

ステップ2 前面ラックマウントブラケットの最も上の穴と、シャーシ側面の通気穴の隣にある穴の最も上のものを合わせます。

ステップ3 一方に黒いネジを差し込み、締めます。

ステップ4 シャーシの反対側面についても、ステップ1～3を繰り返します。黒いネジを使用してラックマウントブラケットをシャーシに固定してください。

背面ラックマウント ブラケットの取り付け

始める前に



(注) シャーシを2支柱ラックに取り付ける場合は、この手順は不要です。

4支柱ラックにシャーシを取り付ける前に、シャーシの両側面にラックマウントブラケットを取り付ける必要があります。

ラックのどの位置にシャーシを取り付けるかを決めます。ラックに複数のシャーシを設置する場合、ラックの下部または中央から順に設置してください。次の図は、シャーシに取り付けられたブラケットを示します。

手順

ステップ1 シャーシの側面にあるネジ穴の位置を確認します。背面ラックマウントブラケットは、ラック取り付け部とその穴がシャーシ背面側を向くように取り付けます。

次の図は、に背面ラックマウントブラケットを取り付ける位置を示します。

図2:への背面ラックマウントブラケットの取り付け

1	背面ラックマウントブラケットのラック取り付け部とその穴	3	背面ラックマウントブラケットネジ
2	背面ラックマウントブラケット		

ステップ2 背面ラックマウントブラケットをシャーシに合わせます。

ステップ3 一方に黒いネジを差し込みます。ネジは完全に締めないでください。

背面のブラケットの穴には位置を合わせるための溝があります。シャーシを4支柱ラックに取り付けるまで、ネジは完全に締めないでください。

ステップ4 シャーシの反対側面についても、ステップ1～3を繰り返します。黒いネジを使用してラックマウントブラケットをシャーシに固定してください。

ラックへのルータの取り付け

シャーシにラックマウントブラケットを取り付けたら、付属ネジを使用してラックの2つの支柱または取り付け板にラックマウントブラケットを固定して、シャーシを取り付けます。ラックマウントブラケットでシャーシ全体の重量を支えるため、必ずすべてのネジを使用して、シャーシのラックマウントブラケットをラック支柱に固定してください。

2 本支柱ラックへの設置



警告 ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。

は、19 インチまたは 23 インチのいずれかの 2 支柱ラックに取り付けることができます。ルータとその上下の装置との間に、1 インチまたは 2 インチ (2.54 cm または 5.08 cm) 以上のスペースを確保してください。

手順

ステップ 1 シャーシに設置されたコンポーネントのすべてのネジや固定装置がしっかり固定されていることを確認します。

ステップ 2 作業の妨げになるものが通路にないことを確認します。ラックにキャスタが付いている場合、ブレーキがかかっているか、または別の方法でラックが固定されていることを確認してください。

ステップ 3 (任意) を支持するためのシェルフをラックに設置します。シェルフを使用すると、ラックへシャーシを固定するときに、シャーシを容易に支えることができます。

(注) シェルフを使用する場合、シャーシをシェルフの上に置き、シャーシ下部がシェルフに載っている状態で、取り付け穴とラックの支柱の穴が合うまでシャーシ前面を少し持ち上げます。

ステップ 4 シャーシを 2 本のラック支柱の間に持ち上げます。この作業は 2 人で行います。

ステップ 5 ブラケットのラック取り付け穴とラックの支柱の穴を合わせ、シャーシをラックに取り付けます。

ステップ 6 ラックマウントフランジがラックの設置レールとぴったり合うようにシャーシを配置します。

ヒント ステップ 7 と 8 で指定されたラックマウントブラケットの取り付け部の穴を使用すると、スペースが確保され、ラック内のシャーシにケーブル管理ブラケットを取り付けやすくなります。

ステップ 7 シャーシを機器ラックの設置レールの位置に合わせて、次のステップを実行します。

- a) 下側のネジをラックマウントブラケットの下から2番めの穴に差し込み、ドライバを使用してネジをラック レールに締め付けます。

ヒント 取り付けを容易に行うには、1つのネジをシャーシの下部に差し込み、次のネジを対角線上のシャーシの上部に差し込みます。

- b) 上側のネジをラックマウント取り付け部の上から2番めの穴（下側ネジの対角線上にある穴）に差し込み、ラックレールに締め付けます。
c) 残りのネジでシャーシをラックに固定します。

ステップ 8 両側のすべてのネジを締めて、シャーシをラックに固定します。

次の図は、2支柱機器ラックに取り付けられた を示します。

1	ラック レール	2	ラック マウントブラケットのラック取り付け部とそのネジ
---	---------	---	-----------------------------

次のタスク

これで、2支柱ラックにシャーシを取り付ける手順は完了です。取り付けを続行するには、「[シャーシのアース接続](#)」のセクションに進んでください。

4 支柱ラックへの設置

手順

ステップ 1 （任意）を支持するためのシェルフをラックに設置します。シェルフを使用すると、ラックへシャーシを固定するときに、シャーシを容易に支えることができます。

（注） シェルフを使用する場合、シャーシをシェルフの上に置き、シャーシ下部がシェルフに載っている状態で、取り付け穴とラックの支柱の穴が合うまでシャーシ前面を少し持ち上げます。

ステップ 2 シャーシを2本のラック支柱の間に持ち上げます。この作業は2人で行います。

ステップ 3 ラックマウントフランジがラックの設置レールとぴったり合うようにシャーシを配置します。

（注） ラックマウントブラケットの下から2番めの穴とラックマウントブラケットの上から2番めの穴を使用してください。こうすることにより、機器ラック内でシャーシにケーブル管理ブラケットを容易に取り付けられます。

ステップ 4 シャーシを設置レールの位置に合わせながら、もう一人の作業者がシャーシの両側のラックレールのネジを手で締めます。

ステップ 5 シャーシの両側のラックレールの残りのネジも手で締めます。

ステップ6 両側のすべてのネジを締めて、シャーシをラックに固定します。

次の図は、4支柱機器ラックに取り付けられた を示します。

図 3: 前面と背面のラックマウントで4支柱ラックに設置した

1	ラックの背面レール	3	前面ラック マウント ブラケットのラック取 り付け部とそのネジ
2	背面ラック マウント ブラケットのラック取 り付け部とそのネジ	4	ラックの前面レール

ステップ7 水準器を使用して2つのブラケットが同じ高さにあることを確認します。または、巻き尺を使用して両方のブラケットがラックレールの上部から同じ距離であることを確認します。

次のタスク

これで、ラックにシャーシを取り付ける手順は完了です。取り付けを続行するには、「[シャーシのアース接続](#)」のセクションに進んでください。

ケーブル管理ブラケットの取り付け

シャーシの各ラックマウントブラケットに取り付けるカスタムケーブル管理ブラケットによって、シャーシの両側で（カードの向きと平行に）ケーブルを管理できます。このブラケットは、ケーブルの取り付けと取り外しが容易に行えるよう、ラックマウントブラケットにネジで固定されます。

用のケーブル管理ブラケットには、各ブラケット用に2個のネジを備えた、独立したケーブル管理用U字フックが含まれています。



(注) ケーブル管理用U字フックの開放側が上向きになるようにケーブル管理ブラケットをシャーシに取り付けてください。

手順

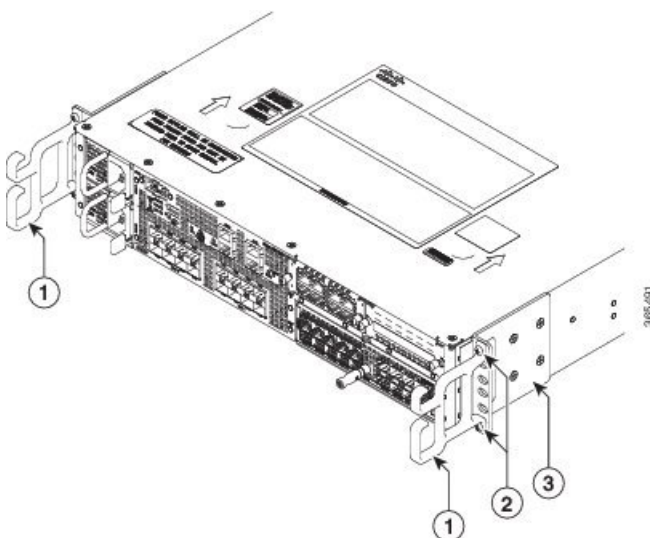
ステップ1 のそれぞれの側でラックマウントブラケットにケーブル管理ブラケットの位置を合わせます。ケーブル管理ブラケットが、シャーシのラックマウントブラケットの一番上の穴の位置にぴったり重なります。

ステップ2 1本のネジをケーブル管理ブラケットの一番上の穴に通して、シャーシのラックマウントブラケットに差し込み、プラス ドライバを使用して締めます。

(注) シャーシに付属している 4 個入りパッケージのネジを使用してください。

次の図は、にケーブル管理ブラケットを取り付ける位置を示します。

図 4: Cisco ASR 1002-HX ルータへのケーブル管理ブラケットの取り付け



1	ケーブル管理ブラケット U 字フック	3	シャーシ前面ラックマウントブラケット
2	ケーブル管理ブラケットのネジ穴		

ステップ 3 必要に応じて、次のいずれかを実行します。

- Cisco ASR 1001-HX ルータ : ケーブル管理ネジをケーブル管理ブラケットの穴に通して、シャーシのラックマウントブラケットに差し込み、プラスドライバを使用して締めます。
- Cisco ASR 1002-HX ルータ : 1本のネジをケーブル管理ブラケットの一番下の穴に通して、シャーシのラックマウントブラケットに差し込み、プラスドライバを使用して締めます。別のネジをケーブル管理ブラケットの一番上の穴に通して、ネジを締めます。

ステップ 4 シャーシの反対側面についても、ステップ 1～3 を繰り返します。

シャーシアース接続部

のシャーシのアース接続は、すべての DC 電源機器の設置、および Telcordia 接地要件への準拠が必要な AC 電源機器の設置に必須となります。



警告 この装置は、アースさせる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

シャーシを電源に接続したり、電源をオンにする前に、シャーシを適切にアース接続してください。にはシャーシのアースコネクタが設けられています。シャーシの背面左側にスタッドがあります。



注意 アース線の取り付けと接続は必ず最初に行い、取り外しは最後に行う必要があります。

この手順を開始する前に、推奨の工具と備品を用意してください。

推奨する工具および部品

システムアースをシャーシに接続するには、次の工具、装置、および消耗品が必要です。

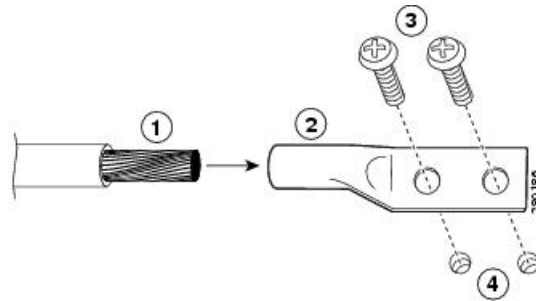
- プラス ドライバ
- 3.5 mm マイナス ドライバ (Phoenix # 1205053 または同等の 3.5 mm マイナス ドライバ)
- デュアル端子シャーシアース コンポーネント
- アース線

シャーシのアース接続

手順

- ステップ 1** ワイヤストリッパを使用して、AWG #6 アース線の一端の被覆を約 0.75 インチ (19.05 mm) 取り除きます。
- ステップ 2** AWG #6 アース線をアース ラグの開放端に差し込みます。

図 5: シャーシアース コネクタへのアース ラグの取り付け



1	シャーシアース導線	3	アース ネジ
2	アース ラグ	4	シャーシアース コネクタの穴

ステップ 3 圧着工具を使用して、導線の導線レセプタクルを注意深く圧着します。これは、アース線を確実にレセプタクルに接続するために必要な手順です。

ステップ 4 シャーシ側面のシャーシアース コネクタの位置を確認します。

ステップ 5 アース ラグの穴に 2 つのネジを差し込みます。

次の、アース ラグをシャーシアース コネクタに取り付ける方法を示します。

ステップ 6 No.2 のプラス ドライバを使用して、アース ラグがシャーシに固定されるまで、慎重にネジを締めます。ネジを締めすぎないようにしてください。

ステップ 7 アース線の反対側の端を設置場所の適切なアース設備に接続し、シャーシが十分にアースされるようにします。

ケーブルの接続

に外部ケーブルを接続するときは、次のガイドラインに留意してください。

- 干渉を防止するため、高出力の回線がインターフェースケーブルと接触しないようにしてください。
- システムの電源を入れる前に、配線の限度（特に距離）を確認してください。

コンソールポートおよび補助ポートのケーブル接続

ルータでは、コンソール端末を接続するため、補助ポートとコンソールポートの両方に RJ-45 ポートを使用します。ルータには、前面パネルに CON というラベルが貼付された非同期シリアル (EIA/TIA-232) RJ-45 コンソールポートが搭載されています。ルータに付属のコンソールケーブルキットを使用して、ほとんどのタイプのビデオ端末にこのポートを接続できます。コンソールケーブルキットに含まれているものは、次のとおりです。

- RJ-45/RJ-45 クロス ケーブル X 1
- RJ-45/DB-9 (メス) アダプタ X 1

クロスケーブルは一方のピン接続が反対側と逆になります。つまり、(一方の) ピン1と(反対側の) ピン8、ピン2とピン7、ピン3とピン6のように接続します。クロスケーブルは、ケーブルの2つのモジュラ端末を比較することによって識別できます。タブが後ろにくるようにケーブルの端を並べて手に持ちます。左側プラグの外側(左端)のピン(ピン1)に接続されたワイヤと、右側プラグの外側(右端)のピン(ピン8)に接続されたワイヤが同じ色になります。

コンソールポートと補助ポートは両方とも非同期シリアルポートです。これらのポートに接続する装置には、非同期伝送機能が必要です。

端末またはPCを使用してルータのコンソールインターフェイスに接続する前に、次の手順を実行します。



- (注) 補助ポートでモデムを使用したアウトオブバンド(OOB)アクセスは、Cisco ASR 1001-HX ルータおよび Cisco ASR 1002-HX ルータではテストまたはサポートされていません。

手順

- ステップ 1** コンソールポートに端末を接続する前に、シャーシのコンソールポートに合わせて、端末を9600 ボー、8 データビット、パリティなし、1 ストップビット(9600 8N1)に設定します。
- ステップ 2** RJ-45/DB-9 ケーブルを使用して、のシリアルRJ-45 コンソールポート(CON)にRJ-45 ケーブルの一方の端を接続します。端末機器にDB-9側を接続します。
- (注) ご使用の端末またはホストの要件に合わせてデフォルト設定を変更する方法については、『*Cisco IOS Terminal Services Configuration Guide*』を参照してください。
- ステップ 3** ルータが正常に動作したあとは、端末を接続解除できます。
- コンソールポートにビデオ端末を接続する手順は、次のとおりです。

次のタスク

取り付けを続行するには、「[ミニ USB コンソールポートへの接続](#)」のセクションを参照してください。

ミニ USB コンソールポートへの接続

USB シリアル コンソールポートは、USB タイプ A to 5 ピン ミニ USB タイプ B ケーブルを使用して、PC の USB コネクタに直接接続します。USB コンソールはフルスピード(12 Mbps)

の動作をサポートしています。コンソールポートはハードウェアフロー制御をサポートしていません。



- (注)
- 必ず適切な終端のシールド USB ケーブルを使用してください。USB シリアル コンソール インターフェイス ケーブルの長さは 3 m 以下にする必要があります。
 - 同時にアクティブにできるのは 1 個のコンソールポートだけです。ケーブルを USB コンソールポートに接続すると、RJ-45 ポートは非アクティブになります。反対に、USB ケーブルを USB ポートから外すと、RJ-45 ポートはアクティブになります。
 - 4 ピン ミニ USB タイプ B コネクタは、5 ピン ミニ USB タイプ B コネクタと混同しやすいコネクタです。5 ピン ミニ USB タイプ B だけがサポートされる点に注意してください。

コンソールポートのデフォルトパラメータは、9600 ボー、8 データビット、パリティなし、および 1 ストップビットです。

Windows 7 より前の Microsoft Windows OS のバージョンで使用する場合、コンソールポートに接続されているすべての PC に Cisco Windows USB Console Driver をインストールする必要があります。ドライバがインストールされていない場合、簡単なインストールプロセスが案内されます。

Cisco Windows USB Console Driver を使用すると、Windows HyperTerminal の操作に影響を与えることなく、コンソールポートの USB を着脱できます。Mac OS X または Linux の場合、特別なドライバは必要ありません。

USB コンソールポートのボーレートは、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200 bps です。

管理イーサネットポートのケーブル接続



注意 クラス A の放射要件を満たすには、接続にシールド付きイーサネットケーブルを使用する必要があります。

手順

- ステップ 1** MGMT ポートにイーサネット RJ-45 ケーブルを差し込みます。
- ステップ 2** RJ-45 ケーブルの反対の端を管理デバイスまたはネットワークに接続します。

